新たなチャレンジ！

2022 年 8 月 1 日

“亭主元気で留守がいい”こんなキャッチフレーズが流行った時期もあったが、年齢を重ねた影響なのか現在の生活環境の影響かは不透明ながら、“理解できる名言”になってきた。そこで、「今後の人生も楽しく」の思いを掲げ新たなチャレンジを開始したのでその１コマを紹介したい。

1．その後 ＤＩＹ はどうなったか

先ず、その前に DIY のその後を紹介したい。

（１）PART１で「ピザ窯」、PART2 で「バーベキュー小屋とトイレ新設」を紹介したが、先ずは利用頻度でみると「バーベキュー小屋」はコロナ感染防止の影響もあってか、家族や孫の友達も含め頻繁に利用するなど、想定以上に活用されており施主としては満足しているが、一方の「ピザ窯」はリクエストが少なく、盛り上がりに欠けもてあまし気味の状態にある。

なお、寒い時期に利用していた隣接の車庫にはシャッターがなく（以前はビニールシートの簡易対応）、風のある日は寒さが身に凍みる状況だったが、新たにシャッターを設置して良い環境に整えたので接客対応面でも良い感じになった。流石に DIY では無理だったので棟梁に格安で設置いただいた。

（２）「バーベキュー小屋」の後は何をするか悩んでいたところ、長男から「バーベキュー小屋」に隣接する倉庫２階に「材料代を負担するので部屋を作って欲しい」とのリクエストが寄せられたので要望に応えるべく PART３として「部屋の改修」（８畳程度）にチャレンジするとともに、これもバーベキュー小屋に隣接していた「畑利用地」の撤去と芝生整備を行ったのでその成果を報告する。

◆ 倉庫２階は長男が年数回友達と酒を交わす場所としてソファーを置いている程度の簡単な作りで、天井や壁は殺風景で“すきま風も遠慮せずどうぞ”的な状況だったので DIY には格好の環境だった。

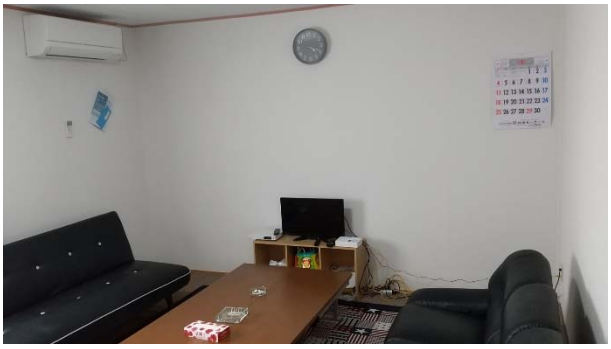
改修前の状態

毎度お世話になる“棟梁”の助言を得ながらの作業であったが、いつものように土日を利用し約４ヶ月で成果を見ることができ、それなりの出来映えに仕上がった (*^_^*)。

リクエストされた部屋の外側は遊び心で 孫が使えるよう「黒板」機能を備えた壁に仕上げるとともに、隣には私用の簡単な小部屋も便乗して作った。

小部屋から見る夏の花火は見応えがあるので楽しみが１つ増えたと云ったところである。

改修作業中の１コマ



完成した部屋

孫用の「黒板」と「小部屋」（右）の外観

「小部屋」からの花火観賞
（2022.7）

◆「バーベキュー小屋」の隣には小さいながらも畑があり主に夏野菜を育てていたのだが、私も農作業従事者の高齢化に位置づけられる年齢となり手入れがおっくうになってきたので、この際、畑を止め全面を芝生で整備することにした。

　先ず、畑の耕土（作土）は水田に戻し、跡地は地下排水処理を行ってから砂を５ｃｍ程度敷き均した。除塩された砂を購入した上で芝生に影響が出ないよう、降雨等も利用し更に除塩を促した後に芝生を貼

り付けた。　専門とも云える土木工事で失敗は許せないなか、何とか芝も上手く根付き良い環境が整ったので、時間をもて余した際にゴルフの練習に利用しているが、自己満足に止まっているため、孫の笑顔が見えるような新たな施設整備（運動施設等）を検討中である。

畑　→　芝生

★アプローチの練習でスコアも若干ながら上昇？

2. 新たなチャレンジ

DIY の新たな取組が限られてきた中、何か別の新しいことに触れることはないかと思案していたところ、コロナ禍の影響で「キャンプ」や「車中泊」が脚光を浴びつつあるとの報道に刺激を受けてしまい、これこそ“亭主元気で留守が良い”にピッタリと決めつけ早速行動を開始することにした。

◆「キャンプ」は若い頃に家族でよく行っていたので当時の道具も相当残っており“使える物は使う”の方針の下で不足する物を揃えることにした。キャンプと云えどもチャレンジしようとしたのは「ソロキャンプ」である。そこで、小さめなテントと簡単な調理器具に加え、ポータブル電源（500W 程度まで）や冷えたビールを飲むことを目的にポータブル冷蔵庫を新たに備えることにした。

また、予備知識注入のためネット等でキャンプ場について調べてみると、以前に比べ格段に良い環境が整っているようだ。 炊事場や水洗トイレはもとより、シャワー設備や管理棟も充実（食材や薪の販売、毛布等の貸出等々もある）し、利用しやすい施設が多くあることが解ったので、野性的なキャンプは避け、こうした施設も上手く利用しながら楽しむ考えでいる。

新たなチャレンジ！

2022 年 8 月 1 日

さて、準備が整い期待を胸に某キャンプ場で「ソロキャンプ」に初チャレンジ。広い場所を提供願ったのでテント設置等を無難に終え、先ずは缶ビールでスタート。ラジオを側にキャンプ飯等も楽しみ、後はアルコールと親しく接し 22 時過ぎに酔っ払って就寝。

問題（ハプニング）が発生したのは翌朝、朝食を作ろうと準備していた“食パン”を探すが無い。確かにあることを前夜確認したのだが無いのだ。ガッカリして周辺を歩いていると、食材を入れていた袋を発見。何故ここに？　なんてことは無い。犯人は周辺にたむろするカラスだったのだ。後で管理人に聞くと被害に遭うので注意してくださいとのことであったが早めに言って欲しかった。

潔く諦めてコーヒーで一服。その後は散歩や読書で時間を過ごし昼前にはキャンプ場を離れ観光しながら帰路に着いたが、無理しないスケジュールで続けていければ GOOD と思ったのが初ソロキャンプを通じての印象であった。

◆「車中泊」も興味津々なのである。TV 放映された「絶メシロード」に影響された感も多いにある。今年に入り５年のリース期間を終えたプリウスから「車中泊」に適した車に乗り換えたので、テント泊と併用してケースバイケースで活用する考えでいる。

そうした中、先日、雨予想の中でキャンプを強行したが、残念ながら予報どおりの天候となったため、早速、テント泊から車中泊に急遽変更してその体験を楽しむことになった。

新たなチャレンジ！

2022 年 8 月 1 日

だが、初めての車中泊は想定していたより窮屈さを感じてしまい、快適に過ごすには水平駐車を維持するとともに、荷物の置き方にも工夫を凝らす必要があると反省した。

快適を実感できるまでには暫く悩むような予感がするが、「車中泊」に慣れてくれば遠出も行きやすくなるので「日本百名山」にチャレンジ中の S 名人には遠く及ばないまでも、20 数年前を思い出し、途中で挫折した九州 100 名山に再チャレンジできるようになればと思案中である。

「老いたから遊ばなくなるのではない。遊ばなくなるから老いるのだ」（バーナードショー）の言葉に共鳴し、新たなチャレンジを継続する覚悟でいるが、そこには何よりも「健全な身体」が必須であり、急激な体力低下を来さないよう日々の健康づくりにも励んでいかなければと考える今日この頃である。

松　田